

令和3年度予算概算決定及び令和2年度第3次補正予算の概要

生産局 園芸作物課

★：令和2年度第3次補正予算

【野菜関係】

- 1. 野菜支援対策(時代を拓く園芸産地づくり支援等)【拡充】 2
- 2. 野菜価格安定対策事業 3

【果樹関係】

- 3. 果樹支援対策(果樹農業生産力増強総合対策等)【拡充】 4

【花き関係】

- 4. 花き支援対策(ジャパンフラワー強化プロジェクト推進)【拡充】 . 9
- 5. 国際園芸博覧会政府出展事業【拡充】 10

【施設園芸関係】

- 6. スマートグリーンハウスへの転換促進 11
- 7. スマートグリーンハウス先駆的開拓推進 12
- 8. 養蜂等振興強化推進事業 13
- 9. 施設園芸等燃油価格高騰対策 14
- 10. 農畜産業プラスチック対策強化事業 15
- 11. 園芸産地における事業継続強化対策(★) 16

【施設整備関係・新たな産地づくり関係】

- 12. 強い農業・担い手づくり総合支援交付金(★含む) 17
- 13. 産地生産基盤パワーアップ事業(★) 18
- 14. 水田農業の高収益化の推進 19

【流通・消費関係】

- 15. 食品等流通持続化モデル総合対策事業 20

(参考：関連予算)

- 16. 持続的生産強化対策事業 21
- 17. 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業(★) 22
- 18. GAP(農業生産工程管理)拡大の推進(★含む) 23
- 19. スマート農業総合推進対策事業(★含む) 24
- 20. 次世代につなぐ営農体系確立支援 25
- 21. 農業支援サービス事業育成対策 26
- 22. 農林水産物・食品の輸出力強化に向けた関係予算(★含む) 27
- 23. 農地耕作条件改善事業 37
- 24. 畑地帯総合整備事業(★含む) 41
- 25. 中山間地農業ルネッサンス事業 42
- 26. 食品ロス削減・プラスチック資源循環の推進 43

(参考)

- 27. 高収益作物次期作支援交付金(★) 44
- 28. 国産農林水産物等販路多様化緊急対策事業(★) 45

令和3年度予算概算決定及び令和2年度第3次補正予算における 園芸作物課関係の概要

項 目	令和3年度予算概算決定額・ 令和2年度第3次補正予算額 (百万円) () 内は令和2年度予算額・令和元年度 補正予算額
【野菜・新たな産地づくり関係】 時代を拓く園芸産地づくり支援等（拡充） 野菜価格安定対策事業	1,059（1,114）の内数 【所要額】 15,602（15,547）
【果樹関係】 果樹農業生産力増強総合対策等（拡充）	5,142（5,687）の内数
【花き関係】 花き支援対策（ジャパンフラワー強化 プロジェクト推進）（拡充） 国際園芸博覧会政府出展事業（拡充）	728（728） 227（150）
【施設園芸関係】 スマートグリーンハウスへの転換促進 スマートグリーンハウス先駆的開拓推進 養蜂等振興強化推進 施設園芸等燃油価格高騰対策 農畜産業プラスチック対策強化事業 園芸産地における事業継続強化対策	217（385）の内数 40（－） 194（40） 8（11） 260（－）
【施設整備関係】 強い農業・担い手づくり総合支援交付金 産地生産基盤パワーアップ事業	24,201（20,020） 34,160（34,750）
【流通・消費関係】 食品等流通持続化モデル総合対策事業	305（156）
【輸出関係】 グローバル産地づくり緊急対策事業のうち 青果物輸出拡大加速化対策事業 輸出環境整備推進事業のうち インポートトレランス申請支援事業	1,538の内数 3,299の内数
【その他】 高収益作物次期作支援交付金	1,343億円 (令和2年度補正予算額1,585億円)

野菜・施設園芸支援対策事業（時代を拓く園芸産地づくり支援等）

【令和3年度予算概算決定額 1,059（1,114）百万円の内数】

＜対策のポイント＞

実需者ニーズに対応するとともに、園芸作物の生産を拡大するため、水田を活用した新たな園芸産地の育成、まとまった面積での機械化一貫体系等の導入、端境期の出荷等に取り組み産地の育成等を支援します。

＜事業目標＞

加工・業務用野菜の出荷量（直接取引分）の拡大（98万トン〔平成29年度〕→145万トン〔令和12年度まで〕）

＜事業の内容＞

1. 水田における園芸作物の導入支援

水田農業における高収益な園芸作物の導入・産地化を実現するため、新たに園芸作物を導入する産地における合意形成や、園芸作物の本格的な生産を始める産地における機械・施設のリース導入の取組等を支援します。

2. 労働生産性を抜本的に高めた野菜のモデル産地形成支援

一定規模以上（露地野菜5ha以上、施設園芸1ha以上）での水田転換やほ場整備と併せて、機械化一貫体系の導入や生育予測システムの導入等の取組を支援します。（農地耕作条件改善事業により支援）

3. 国産が必要に込え切れない端境期の野菜の生産拡大支援

実需者からの国産野菜の安定調達ニーズに対応するため、必要に込え切れない品目や作型（端境期）の出荷に必要な新たな生産・流通体系の構築や作柄安定技術、新たな作型の導入等を支援します（15万円/10a）。

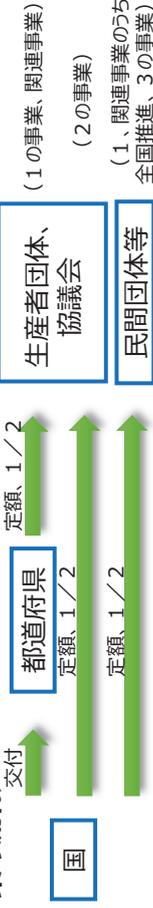
※ 対象品目として、にんにく・しょうが・アスパラガス・さといも・えんどう等5品目を追加（R2:14品目→R3:19品目）

（関連事業）

スマート農業総合推進事業のうち次世代につながる営農体系確立支援

施設園芸産地におけるデータ収集・分析機器の活用、既存ハウスのリノベーションなど、データを活用して生産性・収益向上につながる体制づくり等を支援します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

1 水田での園芸作物の導入支援

○園芸作物の新たな導入への支援
(取組主体)



産地の合意形成 試験栽培

○本格的な園芸作物生産への支援
(取組主体)



生産者、実需者等から構成される協議会
土壌改良資材 機械・施設のリース導入

2 労働生産性を高めたモデル産地形成支援

○水田転換やほ場整備と併せた機械化一貫体系や生育予測システムの導入への支援

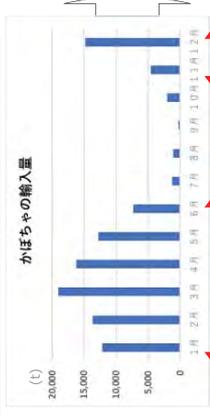


畝立同時施肥機 全自動移植機 収穫機
機械化一貫体系



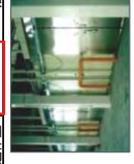
生育予測システム

3 端境期の野菜の生産拡大支援



国内産が必要に込え切れない端境期に輸入が増加

端境期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
作型	行蔵	出荷	行蔵	出荷								
普通作型					播種	定植						
					出荷							



予冷库・貯蔵庫のリース



作柄安定技術の導入

【お問い合わせ先】 生産局園芸作物課（03-3501-4096）